

平成20年度第6回（仮称）広域リサイクルセンター基本計画策定委員会会議録

日 時 平成20年11月26日（水） 午前10時 ～ 正午
場 所 寒川町クリーンセンター 2階・会議室

出席委員 12名

・市川元久・小嶋政幸・亀山直平・井上隆男・杉山六郎・小嶋龍巳・磯川彰
・吉田和正・後藤勤・前嶋笑子・海老根照子・関口光男

欠席委員 2名

・佐藤忠・吉田信雄

町出席者

・須藤部長・関野課長・石塚主幹・関本副主幹・徳江主査

司会進行は石塚主幹

1. 開 会 ……市川委員長より開会

2. 報 告

(1) 第5回基本計画策定委員会の会議録について

通知と一緒に前回の会議録を送付しました。ご意見のある方は事務局までお願いいたします。

3. 議 題

(1) 啓発施設の内容について

(議 長) 事務局より説明をお願いします。

(事務局) 別紙資料について説明（日産技術コンサルタント）

(議 長) 事務局より説明がありましたので、質疑を受けたいと思います。

質 疑

(委 員) 倉庫などは考えているか。

(事務局) 資料の「啓発施設の内容」のその他の欄に記載してあります。

(委 員) 啓発施設の中身としては資料の内容でいいと思うが、いかに利用するかが重要で、そのためにはどのようにPRしていくかが課題となる。そのあたりはどう考えているか。

(事務局) ご指摘のとおり一市一町の施設なので、寒川町を含めて茅ヶ崎市にいかにPRするかが課題である。小学生の見学も寒川だけではなく、茅ヶ崎からも来るようになる。

現段階では方法は決めていないし、茅ヶ崎市とも協議するが、一つの考え方として、こちらから出向いて行ってPRすることも必要ではないかと考えている。さらに、茅ヶ崎では「ごみ通信」といった各世帯に配布する情報ツールを持っているので、完成した施設を写真付きで掲載してもらうことも検討していきたい。

(委 員) 茅ヶ崎市の資源選別施設には啓発施設はあるか。

(事務局) 今のところはありません。

(委 員) 施設の中は固定的ではなく、柔軟性を持たせた形で整備するべきだと思う。

(委 員) 二点ほど伺いたい。まず他市の啓発施設の例を見ると、イベント等での利用が40%にもなる状況がある。今回の施設でも駐車場を利用してイベントスペースを確保することが掲げられているが、どのくらいのウエイトで考えているか。さらに家具再生工房は今回は除外となっているが、将来的な見通しとしてはどうなのか。

(事務局) イベントに関しては具体的な内容は現在持っていない。フリーマーケット等については大規模なものは中央公園において年二回開催しているので、そのあたりとのすみ分けも必要である。屋内の会議室や駐車場スペースをうまく活用していきたい。家具の再生工房は現在、茅ヶ崎市で環境事業センターの隣接施設で行っていて、今後も残していきたいとの意向がある。先程の意見のように、施設に柔軟性を持たせておくことで、茅ヶ崎市との調整の結果、将来的に寒川でやることも可能だと思われるが、今回については除外とさせてほしい。

(委 員) 駐車場の問題もあるが、茅ヶ崎市から施設見学に来る際にはコミュニティバスを増発することも考えてみてはどうか。

(事務局) 事務局としては想定してなかったので担当部局と調整してみます。

(委 員) これからのことを考えると、一般の人達のみならず小中学生の体験学習は非常に有効であるので、授業科目など学校部局ともよく調整する必要があるのではないか。

(事務局) 現状をお話しすると小学校四年生で「ごみ問題」を扱っていて、歩いて来られる三校の児童の方々は毎年見学に来ていて、会議室及び現場での説明をしている。リサイクルセンターができた際には学校部局とも十分連携を図りながら進めていきたい。

(委 員) 茅ヶ崎と寒川と合わせた人口で、どのくらい処理能力を持つ施設を作っていくのか。

(事務局) 人口は茅ヶ崎と寒川で合わせて約27万人になります。処理能力としては日量で55tを計画しています。茅ヶ崎44t、寒川11tになります。

(2) 施設計画及び管理運営計画について

(議 長) 事務局より説明をお願いします。

(事務局) 別紙資料について説明（日産技術コンサルタント）

(議 長) 事務局より説明がありましたので、質疑を受けたいと思います。

(委 員) 太陽光発電などのエコ関連について確認したい。

(事務局) 前回の会議で提案させていただいたが、太陽光発電と雨水再利用のシステムは取り入れていきたいと考えている。そこで得た電力は施設内で利用します。今回、太陽光発電についての記載が漏れているので追加します。

(委 員) 事務室の予定人数が入っているが、茅ヶ崎市の職員も含めた人数なのか。

(事務局) 茅ヶ崎市とは事務委託方式をとっていて、施設運営は当該自治体が責任を持って運営することになるので、この中には含まれていません。もし派遣を受けることになればこの中に含めていくことになります。

- (委員) 施設の構造としては立体構造となるのか。平面構造となるのか。
(事務局) 提案があればお願いしたい。
- (委員) 一般的には立体構造の方が施設をコンパクトにできる。ごみ処理部分は、できる限りコンパクトにして効率的な施設にしてほしい。
(事務局) 茅ヶ崎市と収集方法等の調整を進めながら、効率の良いものになりたいと考えています。
- (委員) 管理運営方式について、平塚市では包括的な長期契約をすると聞いたが、今回の施設ではどのように考えているのか。
(事務局) 人数についてはあくまでも管理事務室内の想定です。運営方式については、現段階では直営とするか民営とするかは決まっていません。P16からは検討材料として民間委託等の資料を提示しています。
- (委員) 外部仕上げのデザイン関連についてどう考えているか。周辺の環境や今後近隣を通る予定の（仮）湘南台寒川線には沿道サービス系の施設が設置されることを考慮して、数年後の状況を見越した上で考えるべきではないか。
(事務局) まずはこの周辺の環境に配慮したデザインにしたいと考えている。現状でも緑が多いので、それととけ込むようなイメージも持っている。今後、当委員会等へ提案していきたい。
- (委員) ここは地質の問題が心配である。施設としては振動を伴うものがあるのでどの時点で構造上のチェックしていくのか。
(事務局) 来年度に工事の発注に向けての仕様書を作成しますが、その時に業者からの提案を受ける部分もあり、その段階でチェックができます。また、施設の詳細な内容が決まるのは工事の前段階での実施設計になるので、その時にもチェックします。

(3) その他について

クリーンセンター解体によるごみ処理施設等の動きについて

- (議長) 事務局より説明をお願いします。
(事務局) 別紙資料について説明（関野課長）
(議長) 事務局より説明がありましたので、質疑を受けたいと思います。

- (委員) 可燃ごみ等の持ち込みが茅ヶ崎市の施設になるとのことだが、受付も含めて窓口が茅ヶ崎市になるということで良いか。
(事務局) 12月議会で条例の改正を行うため、受付、料金徴収を含めて茅ヶ崎市になります。

- (事務局) 次回の日程については個別にご連絡いたします。
今回までの協議経過をまとめてお配りしますので、目を通していただくようお願いいたします。今後、茅ヶ崎市も含めてパブリックコメント等を行うように準備を進めます。

4. 閉会

- (副委員長) 閉会の言葉を述べて閉会となる。

